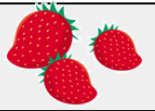


ふくおかの経済

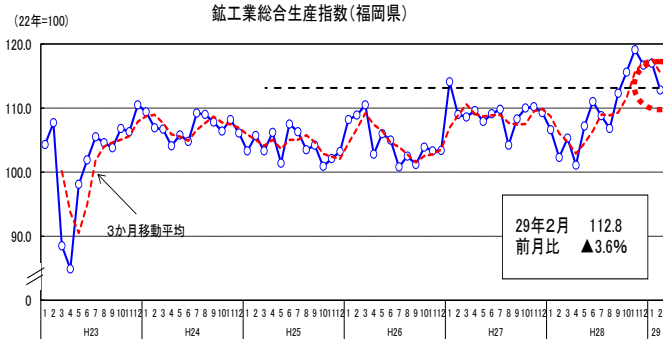
平成29年4月号



生産

生産は高水準で推移している

2月の生産指数は、輸送機械工業などが低下し、前月比で2か月ぶりの低下となりましたが、高い水準は続いています。

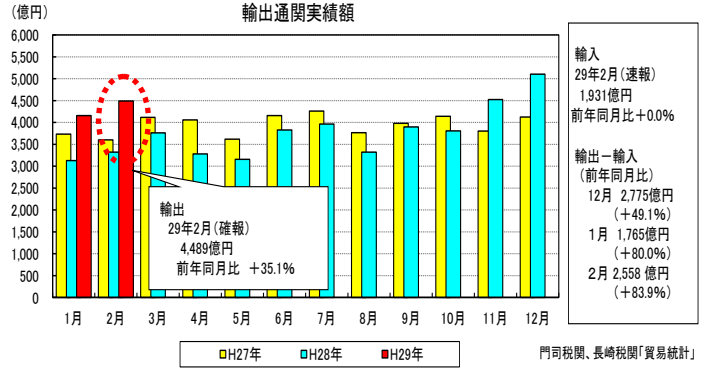


鉱工業生産指数は、平成22年の生産額を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は増加、輸入は持ち直している

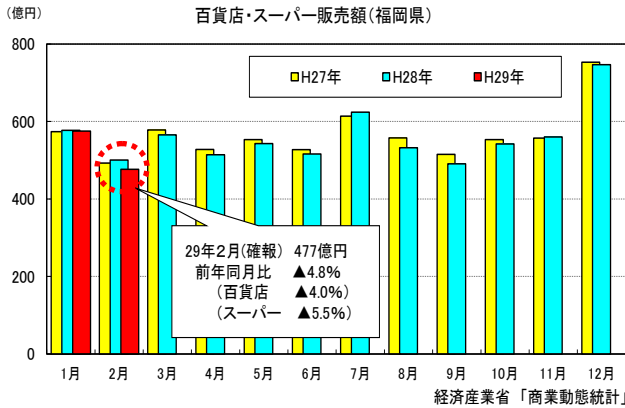
2月の輸出は、米国向けの自動車や中国・韓国向けの一般機械などが増加したことから、4か月連続で前年同月を上回りました。



消費

緩やかな回復基調にある

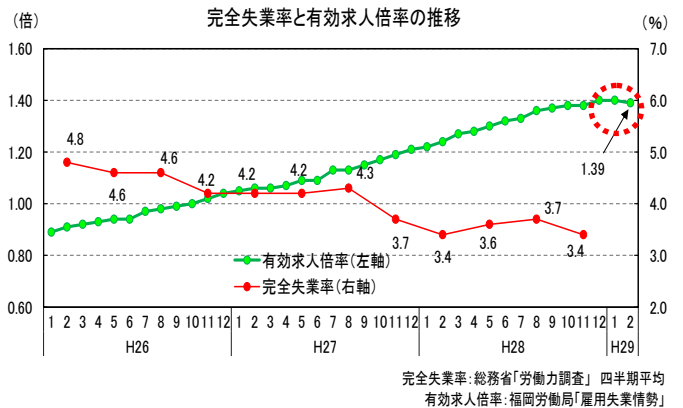
2月の百貨店・スーパー販売額は、全体では4.8%減と、前年同月を下回りました。今月は、前年うるう年の反動に加え、休日が1日少なかったことなどの要因があります。



雇用

着実に改善が進んでいる

2月の有効求人倍率は1.39倍で、52か月ぶりに前月を下回りましたが、昭和38年の統計開始以来、過去2番目に高い水準となっています。



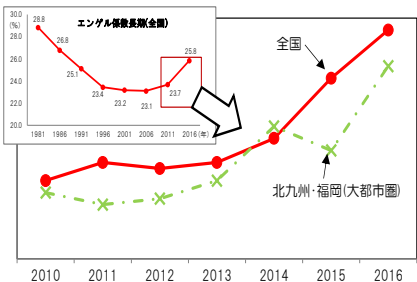
仕事を探している人数に対する企業が求めている人数の割合が有効求人倍率です。

今月のトピック 最近のエンゲル係数の上昇について

- ・エンゲル係数*が全国、北九州・福岡圏ともに足元で急上昇しており、注目されています(図1)。
- ・その理由は、消費支出全体が縮小するなか、食料費支出が増えているためです(図2)。中でも支出割合の大きな外出、調理食品、肉類への支出は、物価上昇率よりも大きくなっていることが特徴的です(図3)。

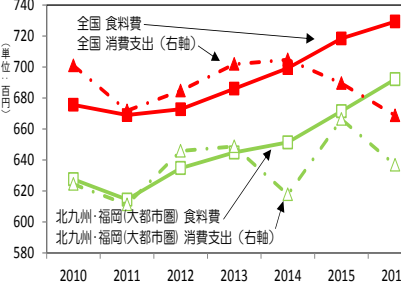
※エンゲル係数って？
消費支出に占める食料費の割合のことじゃ！
生活が豊かになるほど数字が小さくなるのじゃよ。

図1 エンゲル係数(二人以上の世帯)



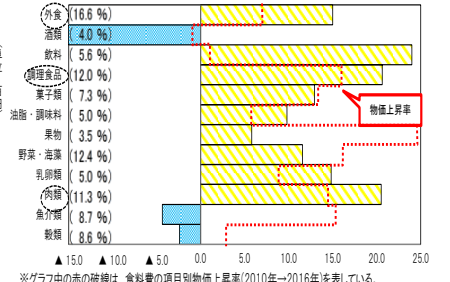
資料)総務省「家計調査」都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たり1か月間の収入と支出

図2 消費支出額と食料費【全国・北九州・福岡(大都市圏)】



資料)「家計調査」都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たり1か月間の収入と支出

図3 食料費項目別増減率(2010年→2016年)北九州・福岡(大都市圏)



※グラフ中の赤の破線は、食料費の項目別物価上昇率(2010年→2016年)を表している。
資料)総務省「家計調査」都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たり1か月間の収入と支出、「消費者物価指数」
※()内は2016年の食料費に占める割合 (トピック担当:分析1班 佐藤)